

霧島山のめぐみめぐる

えびの

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。

広報

4 2017
APR
vol.606

Ebino city
Public relations

今月の掲載記事

平成 29 年度施政方針・当初予算
新たな組織体制でスタート
皆で守ろうえびのの畜産
CIVIC NEWS
まちのわだい

平成 29 年度

「施政方針」

えびの市議会 3 月定例会で村岡市長は、「平成 29 年度施政方針」を述べました。今回は、その一部を抜粋・要約してお知らせします。

わが国は、世界に先駆けて「人口減少」が進行しており、本市においても、減少傾向が続いています。

このような状況の中、人口減少問題を克服し、将来にわたって持続可能な地域社会を維持するための基本目標や施策方針等を定めた「えびの市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「えびの市創生」に向けた取り組みを進めているところです。

この間、ヒノヒカリの特A獲得、飯野高等学校生の活躍、道の駅来場者 200 万人突破、ふるさと納税リニューール、島内地下式横穴墓群出土品、移住・定住支援センターや創業支援センターの開設、新たなご当地キャラクターやキャッチコピーの誕生など、いい形で地方創生の一歩を踏み出せたものと感じていきます。

本市財政については、今後も厳しい財政運営が予測されることから、国・県の各種支援等を最大限活用するとともに、真に必要な事業を実施していかねければなりません。

平成 29 年度の予算については、各施策・事業の効果を十分に検証・検討し、成果を重視した事業を実施していくこととし、主に、新規就農者定住促進事業、農業継承推進事業、起業家育成インキュベーション事業、シテイセールズ推進事業、心のふるさと寄附金推進事業、道の駅拡張事業、アウトドアシテイ推進事業、移住・定住支援推進事業、第 3 子以降保育料無料化事

業、30 人学級事業、飯野高等学校支援事業、地域運営協議会事業、防災食育センター建設事業など、「第 5 次えびの市総合計画」および「総合戦略」で掲げた目標達成のための事業に取り組みます。

■新たな活力を生む産業づくり

農業の振興では、新規就農者の確保や安全・安心な農畜産物の生産拡大と農家所得の向上に取り組みます。昨年 JAF（日本自動車連盟）が行った道の駅グランプリにおいて、九州で 1 位となった「道の駅えびの」は、現状の課題解決に向けた施設整備など新たな展開について協議を進めます。畜産の振興では、自衛防疫意識の向上、後継者等の担い手の規模拡大や所得向上に取り組みます。

商工業の振興では、引き続き利子補給等の支援を行うほか、インキュベーション施設による起業支援に取り組みます。

企業立地では、本市のアクセスの良さを生かし、幅広い業種に対する企業立地活動のほか、地場企業へのフォローアップ等を展開します。

また、工業用地等の確保については、工業団地基本計画を踏まえ、工業団地整備に向けての課題整理を行います。観光の振興では、「えびの市観光振興計画」に基づき、重点プロジェクトを中心に各種施策に取り組みます。特に道の駅を拠点に、アウトドア拠

点施設を整備し、登山やキャンプ等各種野外活動の案内により交流人口の拡大を目指します。

■志と郷土愛を持つ人づくり

学校教育では、「30 人学級」や「幼保小連携・接続推進事業」、「小中一貫教育」および「飯野高等学校との連携」を含めた、幼・保・小・中・高の一貫教育を引き続き推進します。

また、市奨学金貸与制度については、貸与月額選択制と入学一時金貸与制を設け、修学に伴う保護者の経済的な負担軽減を図ります。

飯野高等学校の支援では、「給付型奨学金支援事業」、「学力向上等支援事業」および「通学支援事業」により、魅力ある学校づくりに寄与し、存続に向けた取り組みを引き続き実施します。文化活動の促進では、「島内地下式横穴墓群出土品」を保護・展示するとともに、第 139 号墓の出土品の解析調査および報告書の発行などを行います。

■誰もが元気健康のまちづくり

健康づくりの推進では、疾病の予防、早期発見、早期治療および重症化予防に重点を置いた事業を展開し、市民が自ら積極的に心と体の健康づくりに取り組めるよう支援します。

地域医療対策では、西諸の医療機関関係者等との連携により、夜間・休日診療体制や小児救急医療体制を維持す

るため必要な支援を行います。

市立病院については、地域包括ケア病床導入に向けての調査・研究を進めるほか、計画的な医療機器更新や市内および近隣医療機関との機能分化による連携により、安心で安全な医療の提供を図ります。

さらに、医師不足対策では、従来の要望活動等に加え、新たにインターネットによる医師募集事業により、早期の医師確保を図り、安定した診療および救急医療体制の構築に努めます。

■協働と福祉のまちづくり

市民協働のまちづくりでは、「地域運営協議会」の活性化のための支援を行い、権限と財源の委譲を行っていく体制の構築を更に進めます。

地域福祉の推進では、「第 3 期えびの市地域福祉計画・えびの市地域福祉活動計画」に基づき、住民一人ひとりが地域の主役の地域福祉を推進していきます。

子育て支援対策では、「えびの市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、幼児期の学校教育や保育、地域子ども・子育て支援事業などの施策を展開していきます。

高齢者福祉事業では、「第 6 期えびの市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で、健康でいきいきと人らしく自立した生活が続けられる環境づくりを進めます。

障害者福祉施策では、「えびの市障害者計画」や「えびの市障害福祉計画」に基づき、障害のある人が地域の中で人格と個性を尊重され、安心して暮らせる環境づくりを推進するため、障害福祉サービス事業や地域生活支援事業等の充実を図ります。

防災力の向上では、「えびの市地域防災計画」等に基づき、関係機関との連携を図りながら更なる防災体制の充実に努めます。

■住みよい生活環境づくり

景観形成の推進では、えびの市の良好な景観を保全・創出するために基本的な方針や基準を定めた「えびの市景観計画」の策定に取り組みます。

空き家対策では、平成 28 年度に実施した空き家等実態調査に基づき、「空家等対策計画」を策定し、良好な生活環境の推進を図ります。

移住・定住対策では、地方創生に向けた重要施策として位置づけ、各分野にわたり横断的かつ総合的に取り組みます。

地域公共交通対策では、引き続きタクシー利用料助成や悠々パス購入費補助等の支援を行いながら、さらに検証や改善を図るほか、公共交通利用の啓

発の強化を図ります。

■計画の実現に向けて

行財政改革の推進では、著しく変動する社会情勢に的確に対応し、将来に向けて持続可能な地域社会を維持していくため、「第 6 次えびの市行政改革大綱」に基づき、不断の行政改革に取り組みます。

自主財源である市税の賦課徴収では、引き続き公正・公平な課税に努め、納期内納付を推進します。

さらに、「ふるさと納税制度」については、引き続き事業の拡充を行い、更なる収入確保に努めます。

以上、市政運営に対する所信の一端を申し述べましたが、「第 5 次えびの市総合計画」および「えびの市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進に向け、市民の皆さんと一体となり、「大自然と人々が融合し、「新たな力」が躍動するまち えびの」の実現に向け、各種施策・事業に取り組みます。いずれの施策も、市民の皆さんが主役となる「協働のまちづくり」を念頭に、初心を忘れることなく、自らが先頭に立ち、誠心誠意努めてまいれる所存ですので、更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。



平成 29 年度当初予算

一般会計予算は、136 億 5,000 万円です

■会計別予算の状況

会計	29 年度	28 年度	増減率
国民健康保険特別会計	40 億 7,077 万 3 千円	41 億 5,859 万 5 千円	△ 2.1%
後期高齢者医療特別会計	6 億 6,983 万 8 千円	6 億 3,899 万 1 千円	4.8%
介護保険特別会計	33 億 6,921 万 3 千円	32 億 9,842 万 6 千円	2.1%
水道事業会計	7 億 4,482 万 4 千円	8 億 6,478 万 7 千円	△ 13.9%
病院事業会計	10 億 3,122 万 2 千円	10 億 484 万 4 千円	2.6%

※水道事業会計および病院事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計を記載。

■市民一人あたりの予算額（一般会計）

※ 3 月 1 日現在、住民基本台帳で算出。

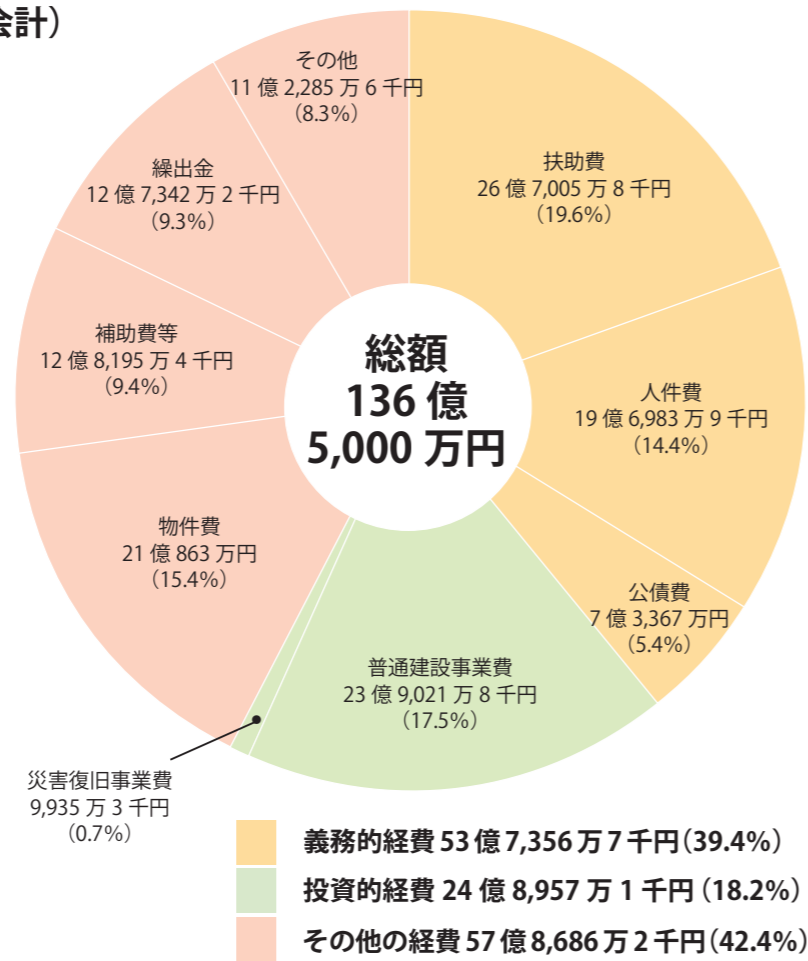
1 人あたり約 67 万 2,050 円



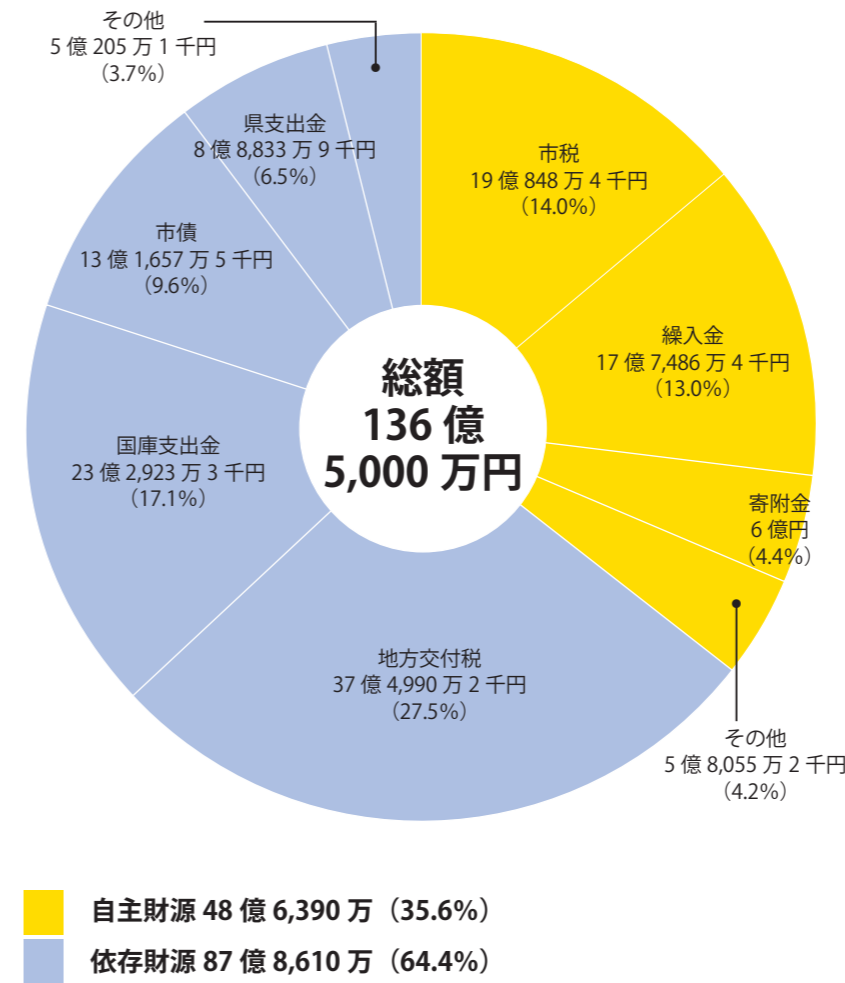
1 世帯あたり約 135 万 7,939 円



歳 出



歳 入



平成 29 年度一般会計当初予算の総額は、歳入、歳出それぞれ 136 億 5000 万円です。平成 28 年度当初予算と比較すると、6 億 9500 万円、率にして約 5.4% の増額予算となりました。歳入予算の財源割合は、自主財源（市税など、自主的に収入できる財源）が、35.6%、依存財源（国や県からの交

付金・支出金や、市債による財源）が、64.4% となっております。依存財源の割合が高くなっています。歳出予算の主な事業内容については、来月「わかりやすい予算書」でお知らせします。市財政課 財政係 35・3716（課直通）

■一般会計目的別歳出の状況

科目	29 年度	28 年度	増減率	科目	29 年度	28 年度	増減率
議会費	1 億 5,256 万 8 千円	1 億 5,280 万 7 千円	△ 0.2%	土木費	14 億 5,503 万 3 千円	13 億 3,008 万 9 千円	9.4%
総務費	23 億 5,600 万 2 千円	19 億 2,104 万 9 千円	22.6%	消防費	11 億 910 万 8 千円	4 億 2,898 万 2 千円	158.5%
民生費	44 億 4,260 万円	44 億 9,750 万 6 千円	△ 1.2%	教育費	8 億 8,199 万 5 千円	13 億 6,027 万 2 千円	△ 35.2%
衛生費	11 億 2,867 万円	10 億 9,489 万 2 千円	3.1%	災害復旧費	1 億 2,167 万 4 千円	1 億 2,902 万 5 千円	△ 5.7%
労働費	1,069 万 1 千円	943 万 1 千円	13.4%	公債費	7 億 3,367 万円	7 億 4,447 万 9 千円	△ 1.5%
農林水産業費	8 億 3,925 万 3 千円	8 億 8,216 万 4 千円	△ 4.9%	予備費	3,608 万 1 千円	3,327 万 1 千円	8.4%
商工費	3 億 8,265 万 5 千円	3 億 7,103 万 3 千円	3.1%	合計	136 億 5,000 万円	129 億 5,500 万円	5.4%

■用語の説明

歳入
 【自主財源】市税など、自主的に収入できる財源。
 【依存財源】国や県により決定された額を交付されたり、割り当てられたりする財源。
 【地方交付税】地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるように、一定の基準により国を通じて交付されるお金。
 【国庫支出金】国から地方公共団体に支出される補助金や委託金。
 【市債】市がさまざまな事業を行う時、借り入れるお金。
歳出
 【義務的経費】その支出が義務付けられ、任意に削減することが困難な経費。
 【投資的経費】その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。
 【扶助費】法令に基づき、被扶助者に支出される経費。
 【人件費】市職員給与、市議会議員・各種委員報酬などの経費。
 【公債費】市が借り入れたお金の償還金。
 【普通建設事業費】道路、橋りょう、学校、庁舎など公共施設の新設や改修に要する経費。


新たな組織体制で スタート

平成29年4月1日付で、市職員の人事異動が発令されました。
平成29年度のスタートにあたり、新規採用職員を紹介します。

平成29年度の職員数は、新規採用職員10人(男7人、女3人)を迎え、300人となります。
えびの市と宮崎県との連携強化と職員の資質向上を図るため、山住晃平主事(前健康保険課)を実務研修派遣職員として、宮崎県に派遣しました。派



遣期間は1年間です。
また、平松貴文主事を人事交流派遣職員として、宮崎県に派遣しました。派遣期間は1年間です。
問 市総務課人事係
☎ 35・3711(課直通)



①有馬純一 (ありまじゅんいち)

②市民環境課
③亀沢

④市民の皆さんがより暮らしやすいえびの市を目指して尽力します。気持ちの良いあいさつを心掛けていきます。



①中川秀彦 (なかがわひでひこ)

②水道課
③南原田

④一つ一つの業務をしっかりと習得し、市の職員として、市民の皆さんのために貢献できるよう励みます。



①杉田歩美 (すぎたあゆみ)

②健康保険課
③日南市


④えびの市のことは、まだまだわからないことばかりですが、市民の皆さんとたくさん話をし、役に立てよう頑張ります。



①甲斐美月 (かいみづき)

②学校教育課
③西川北

④相手の立場で考えることができる職員を目指し、大好きな地元であるえびの市に貢献できるよう努力します。



①米原優雅 (よねはらゆうが)

②税務課
③栗下


④市の職員としての自覚をしっかりと持ち、1日でも早く仕事を覚え、地域に貢献できる職員になりたいです。



①内田結実 (うちだゆみ)

②市民協働課
③永山


④関わる皆さん一人一人としっかりと丁寧に向き合い、多くの人に信頼される職員を目指して頑張ります。



①池牟禮和記 (いけむれかずき)

②農林整備課
③上浦

④やるべき事を見つめ、一日一日目標を設けて、これまでの経験を生かし、えびの市に貢献できるよう頑張ります。



①土井和浩 (どいかずひろ)

②基地・防災対策課
③片馬場

④地元えびの市の発展のために、一生懸命業務に励みます。迅速に動けるよう、日頃から意識して仕事に取り組みます。


新規採用職員の抱負等を紹介しします。(①氏名、②配属先、③出身地、④抱負)



①鬼川尚也 (おにかわしょうや)

②福祉事務所
③永山

④地元を、市民の皆さんと共に盛り上げていきたいと思えます。窓口でも明るく親身になって対応します。



①永吉功知 (ながよしあつのり)

②介護保険課
③駅前

④市民の皆さんに貢献できるように、少しでも早く仕事を覚え、笑顔を絶やさない職員を目指します。

あれから7年。あの悲劇を繰り返さない

皆で守ろう えびのの畜産

7年前の4月28日、えびの市で口蹄疫が発生し、多くの家畜が殺処分されました。平成29年に入って4カ月足らずですが、東アジア地域において、モンゴルで3件、中国で4件、韓国で9件の発生が確認されており（平成29年4月5日時点）、いつ口蹄疫が日本に入ってくるか、予断を許さない状況です。

平成22年4月20日、県内で最初の口蹄疫が発生し、4月28日にはえびの市で疑似患者が確認され、市内で4件の口蹄疫が発生しました。この時殺処分された家畜は市内で672頭、県内では約29万頭にも上り、甚大な被害を及ぼしました。畜産農家の皆さんには、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期発見のための監視の強化をお願いします。

二度とあの悲劇を繰り返さないためにも、日頃の防疫活動を振り返り、問題点があれば適宜改良し、適切な準備と対応をしていく必要があります。口蹄疫の防疫活動中、ウイルスを侵入させないために必死で頑張っていたあの時を今一度思い出してください。

また、家畜伝染病は口蹄疫だけではなくありません。県内において、平成28年12月19日、平成29年1月14日に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました。近隣諸国では依然として高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。養鶏農家の皆さんは、防鳥ネットの定期点検、鶏舎周りの消石灰散布など防疫体制を整えていただきますようお願いいたします。また、平成28年9月以降、P

ED（豚流行性下痢）が発生し、本県4農場、隣県鹿児島県1農場でいまだ沈静化が確認されていません（平成29年3月30日現在）。感染はふん便を介した経口感染が主であり、汚染器具を介した感染も起こるため、畜舎や器具の消毒はこまめに行ってください。

大切な家畜を守るには農場主の意識の高さと、事前の準備・対応が必要です。消毒の徹底をはじめ、飼養衛生管理基準の遵守を心掛けてください。また、市民の皆さんの協力も不可欠です。農場を訪れる際は、必ず農場主に連絡を入れ、踏み込み消毒槽などによる靴底やタイヤの消毒を徹底してください。

☎ 関市畜産農政課畜産振興室
35・3744（課直通）

思い出そう頑張っていた消毒を



農協での消毒作業



高速高架下での消毒作業

●毎月20日は、県下一斉消毒の日です

畜舎の消毒	・出荷後、敷料を除去した空の畜舎などを、動力噴霧機により、洗浄・消毒を行います。動力噴霧機がない場合は、消毒薬をジョウロなどで散布しましょう。
消石灰散布	・車両が入ってくる農場入口に、全体的に白くなるように散布します。 ・車両のタイヤが十分に一周するくらいの長さ・幅で散布してください。
踏み込み消毒槽の設置・点検	・畜舎入口には踏み込み消毒槽を必ず設置するようにしてください。泥や土等が大量に混ざると効果が薄まりますので、こまめに点検し、消毒薬が汚れていたらすぐに取り替えるようにしましょう。
畜舎周囲の清掃	・畜舎周囲の除草や草刈り等を含めた環境の整備に努めましょう。

韓国における口蹄疫の発生状況

（2017年2月以降）※出典：韓国農林畜産食品部 等



CIVIC NEWS

市政ニュース

えびのの市移住・定住促進動画が完成

このたび、本市への移住・定住を図ることを目的に、えびの市のPR動画を制作しました。

動画は、えびのの魅力を凝縮した「えびのの魅力篇」と移住・定住をサポートする施策を紹介した「移住・定住篇」の二本立てとなっております。

「えびのの良さを売り込む」海外の通信販売番組をイメージして制作し、利用者の声として市民の皆さんにも多数出演していただきました。



「えびのの魅力篇」では、本市の魅力を分かりやすくアピール



「移住・定住篇」では、30人学級や就農支援を紹介

今後は、この動画を活用して、えびのの魅力を広く発信し、移住相談会などで移住希望者へのさらなるPRも行っていく予定です。なお、本動画は市ホームページ(<http://www.city.ebino.lg.jp/>)やYouTube(<https://www.youtube.com/channel/UC-ZDTlmwWC8yopwQ1eTehjQ>)などで視聴できますので、ぜひ、ご覧ください。

☎ 35-3713 (直通)

守ろう貴重な水資源 河川水質検査結果を公表

市では、河川の環境保全のために水質検査を毎年行っています。

検査場所は、市内の7カ所です。分析では、5項目（PHⅡ水素イオン濃度、DOⅡ溶解酸素量、BODⅡ生物学的酸素要求量、SSⅡ浮遊物質、大腸菌群数）の検査を実施しています。

市では、合併処理浄化槽の普及啓発を図ることで、河川の生活排水処理対策を行い、河川の汚濁防止に努めています。

各家庭でも生活排水汚濁防止に心がけ、私たちの共有する貴重な財産でもある河川の環境保全に努めましょう。

※検査結果は、市民の皆さんの環境美化の目安としてください。

※基準値以上の箇所については、何らかの罰則規定等があるわけではありません。

☎ 35-3731 (課直通)

●検査結果 (検査日：平成29年2月27日)

項目	pH	DO	BOD	SS	大腸菌群数
単位	—	mg/L	mg/L	mg/L	MPL/100mL
環境基準	6.5～8.5	7.5以上	2以下	25以下	1,000以下
下久保原橋	7.5	12.0	0.5未満	1.0未満	20
二十里橋	7.5	11.6	0.5未満	1.0未満	330
池島橋	7.6	10.7	0.5未満	4.0	3,300
長江川橋	7.3	10.1	0.6	3.0	790
関川橋	7.7	10.9	0.5未満	1.0	130
新岩次橋	7.6	11.7	0.5未満	2.0	220
山川橋	7.3	12.0	0.5未満	2.0	50

※環境基準(昭和46年環境庁告示59号)の類型指定は河川A類型(川内川に流入する河川も含む)
 ※検査前日の天候(雨)により大腸菌群数が増えることがあります。

県際地域魅力再発見事業 互いにPRできるために

3月14日、「県際地域魅力再発見事業ポランティアガイド研修会」が行われました。これは、鹿児島・宮崎・熊本県の県境にある市町が交流・連携して、各市町の発展と地域の振興を図るため、行われているものです。

同研修会には、えびの市、伊佐市、湧水町のボランティアガイド約40人が参加しました。同研修会では、めがね橋、陣の池、末永の田の神さあを見学し、えびのガイドクラブ

が現地の説明を行いました。また、意見交換会では、「この地域の各市町は、自然・歴史・文化などが密接に関連しています。各市町がそれらの情報を共有し、観光客など訪れた人にお互いの市町をPRできるようにすることが大切です」という意見などが出されました。

☎ 35-3712 (直通)

くるみん認定交付式 市内2社が認定

3月24日、市役所で「くるみん認定交付式」が行われました。今回認定を受けたのは、「えびの電子工業株式会社」と「株式会社丸正フーズ」の2社です。

くるみん認定とは、「子育てサポート企業」として、子育て支援に積極的に取り組む企業や法人を厚生労働大臣が認定する制度です。企業が行動計画を策定し、それに定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たし、申請を行う

ことにより認定されます。初めて認定を受けたえびの電子工業株式会社は、残業時間削減の推進や男性の育児休業取得の推進が評価されました。2回目の認定を受けた株式会社丸正フーズは、半日および時間単位で取得できる年休制度や育児休業制度について、社員へ周知を行ったことが評価されました。

☎ 35-3727 (直通)



めがね橋の説明を熱心に聞く参加者



認定を受けたえびの電子工業株式会社



2回目の認定を受けた株式会社丸正フーズ

CIVIC NEWS

市政ニュース

平成29年農業振興大会 所得向上と発展を目指す

3月29日、市文化センターで、「平成29年農業振興大会」が行われました。大会には、市内の農家ら約250人が参加しました。この大会は、農業所得の向上やえびの市の農業振興を図るため、毎年行われています。

大会では、農業分野で功績のあった6人に表彰状が贈られました。表彰後、農事組合法人きらり農場高木の松原照美組合長による講演(演題「集落の農地・農業は集落で守る



えびの市農業功労者表彰を受けた皆さん

う)や、都城家畜保健衛生所の山下裕之主査とJAえびの市農産園芸課の内村直樹主任による農業振興活動事例の発表が行われました。

【えびの市農業功労者】
石ケ野茂さん(原田)、谷口克美さん(末永)、永倉保志さん(湯田)、原正男さん(浦)、東康夫さん(上江)、森茂さん(水流)

【市畜産農政課農政企画係】
☎35・1111(内線241)



農業振興活動事例を発表する内村直樹氏

緊急食料等支援事業協定調印式 生活困窮者への支援

3月30日、市役所で、市と市社会福祉協議会、市商工会との間で「緊急食料等支援事業協定」が結ばれました。

この協定は、所持金がほとんど無く、食事もままならない状態で窓口を訪れる生活困窮者に対し、市と社会福祉協議会、商工会が協力して、食料品の現物給付等を支援するものです。

協定では、市と社会福祉協議会が、生活困窮者からの支援依頼に応じて困窮状況を調

査し、支援が必要と判断した場合、商工会の協力商店に依頼し食料品を無償で提供します。

このような協定が結ばれるのは県内で初めてです。この「食のセーフティネット」がきっかけとなり、生活困窮者へのさまざまな支援へつながることが期待されます。

【市福祉事務所生活・仕事支援室】
☎35・3741(直通)



調印を行った村岡市長と瀬戸崎会長、高田副会長

起業支援センターオープン 創業・起業拠点施設始動

4月7日、えびの市起業支援センター(愛称「E・B・iC」(エービック))のオープニングセレモニーが行われました。

同センターは、起業家の誘致等を行い、その経済活動による地域経済の活性化を目的として開設されました。起業希望者や地域の事業者に対し、インキュベーションマネージャーが常駐することにより、総合的な創業・経営支援を実施していきます。



代表者によるテープカット

今回、インキュベーションマネージャーとして着任したのは、坂本文夫さんです。

坂本さんは、「初心に立ち戻り、足元を見ながら、皆さんの目線にたって寄り添いながら支援していきます。自分のこれまでの経験を生かして、相談者の意に沿う手伝いができればと思います」と話していました。

【市観光商工課企業誘致・商工振興室】
☎35・3727(直通)



辞令を受ける坂本文夫氏

4地区のコミュニティマネージャー 自治会活動をお手伝い

各地区コミュニティセンターには、それぞれコミュニティマネージャーが配置されています。

コミュニティマネージャーは、各自自治会の連携を図りながら、自治会活動の情報提供や地域の実情の把握、集落の維持・活性化に必要な支援を行います。

また、各地域が行う世代間交流事業や学習会、地域づくり研修などの事業の推進を図ります。

特に少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進む中で、自治会活動は、地域の活性化や防災対策など地域の問題解決に欠かすことのできない重要な役割を担っています。

市民の皆さん、自治会活動に積極的に参加して、地域を盛り立てていきましょう。地域の活動に関することはコミュニティマネージャーにお気軽にご相談ください。

【市民協働課市民協働係】
☎35・1118(直通)



田中さん、愛甲さん、岡元さん、黒松さん(左から)

問い合わせ先

地区名	コミュニティマネージャー	電話番号
飯野地区	田中 俊廣	33-0030
上江地区	岡元 秋人	33-5799
加久藤地区	愛甲 文広	35-1755
真幸地区	黒松 優子	37-3221



コールリンドウ創立30周年記念コンサート

一曲一曲に心を込めて



3月12日、市文化センターで「第12回公演コールリンドウ創立30周年記念コンサート」が行われました。コールリンドウは、昭和62年10月に音楽が好きな仲間が集まり結成され、活動を続けています。コンサートでは、団員26人による合唱や、男声合唱団との混声合唱で全21曲が披露されました。また、小林市出身でテノール歌手の内之倉勝哉氏をゲストに招き、6曲が披露されました。会場には約400人が訪れ、美しい歌声に魅了されていました。

3月25日、真幸地区体育館で「えびのサッカー教室」が行われました。これは、同会がサッカー青少年選手の育成および技術力の向上を図るため、行っているものです。同教室には、FC東京普及部の4人が講師として招かれ、市内の小・中・高校の6団体が参加しました。参加したえびのFCの測上 琉太郎くん（10歳）は、「周りをよく見る練習ができました」と話していました。



えびのサッカー選手を育てる会サッカー教室 未来のJリーガーを育てる

3月17日、西諸地区生コンクリート事業協同組合の役員2人が市長を訪問。防犯ブザー150個を市に寄贈しました。これは、同組合が今年1年生になる児童の防犯に役立ててもらおうと贈ったものです。寄贈にあたり同組合の外村公明さんは、「未来を担う子どもたちの安全を守るために防犯ブザーを活用していただき」と話していました。防犯ブザーは、4月10日の入学式で渡されました。



防犯ブザー 150個を贈呈 子どもの安全に役立てて

3月16日、市文化センターで作家の角田光代氏と歌人の俵万智氏による「てげてげ文学対談」が行われました。これは、市民の皆さんに文学に触れてもらう方法として、作者を知ってもらい作品に興味をもって



平成29年度えびの市消防団入退団式 消防団としての決意を誓う

4月2日、市文化センターで「平成29年度えびの市消防団入退団式」が行われました。今年度は、新たに22人が消防団に入団、28人が退団しました。式では、中隊長や小隊長、新入団員などへの辞令交付などが行われました。新入団員を代表して、第3分団第10部に入部した色増拓真さんが「市民の安全・安心のため、良心に従い、忠実に消防の職務を遂行することを誓います」と宣誓しました。



春の地域安全・交通安全運動決起集会 交通安全を呼びかける

4月7日、市文化センターで「春の地域安全・交通安全運動」決起集会が行われました。集会には、41団体の約270人が参加しました。この決起集会は、犯罪や交通事故のない安心して生活できるえびの市を目指そうと行われているものです。集会では、新入学児童生徒の代表に防犯ブザーなどが手渡されました。集会の最期には、参加者全員でがんばろう三唱を行い、交通事故防止などへの決意を固めました。



作家・角田光代×歌人・俵万智「てげてげ文学対談」

文学に触れるきっかけに

3月16日、市文化センターで作家の角田光代氏と歌人の俵万智氏による「てげてげ文学対談」が行われました。これは、市民の皆さんに文学に触れてもらう方法として、作者を知ってもらい作品に興味をもって

もらうため、平成28年度えびの市文化センター自主事業で行われました。対談では、創作活動や出版にまつわること、プライベートのことなど、さまざまなことについてざっくばらんに語り合いました。

BOOKS

おすすめの1冊



きょうのおやつはなんだろな?
ふじものりこ/作 (鈴木出版)



ザ・おかし
串間努/著 (扶桑社)

表紙に描かれたホットケーキ。バターが溶けてとってもおいしそう。ページをめくると、フライパンの上には、ぷつぷつ穴があいたホットケーキ。ちょうど焼けているところです。
じつはでてくるおいしそうなのは、ゼーんぶ、手作りおやつ。といってもむずかしいものじゃありません。ママの手にかかれば、あつというまにおいしいおやつに大変身。愛情たっぷりのおやつがいっぱいの絵本です。

ビスケット、クラッカー・スナック、ポテトチップ、ポップコーン、シリアル、せんべい。
子どものころに食べた「おやつ」の一つ一つにドラマがある。おかし研究の第一人者が30有余年にわたって調べあげた、史上最大のおかし本。食べたことがある人も、食べたことがない人も楽しめる一冊です。
思い出はおやつと共に。くちびるにおかしを持って。

◎「最近入ったお勧め本」

- 「まいにちおべんとう」 大原千鶴 著 高橋書店
- 「ついに、来た?」 群ようこ 著 幻冬舎
- 「検査なんか嫌いだ」 鎌田実 著 集英社
- 「ときめく花図鑑」 中村文文 山と溪谷社
- 「絶望老人」 新郷由起 著 宝島社

◎5月のスケジュール

月間行事	こどもの読書週間 (4月23日～5月12日)
1 月	休館日
6 土	おはなし会 10:30～11:30
7 日	図書館たんけん 10:00～11:00 一日図書館長体験 13:30～15:00
8 月	休館日
10 水	移動図書館車巡回③ 13:15～15:15 ブックスタート (1歳児に絵本配布)
11 木	移動図書館車巡回④ 15:30～15:55
12 金	移動図書館車巡回⑤ 14:05～15:15
13 土	おはなし会 10:30～11:30
15 月	休館日
17 水	移動図書館車巡回① 14:05～15:15
19 金	移動図書館車巡回② 15:30～16:30
20 土	おはなし会 10:30～11:30 土曜シネマ「神話の国のこどもたち」 13:30～
22 月	休館日
24 水	移動図書館車巡回③ 13:15～15:15
25 木	移動図書館車巡回④ 15:30～15:55
26 金	移動図書館車巡回⑤ 14:05～15:15 喫茶ふら〜っと 9:45～11:00 野菜・手芸品等の販売 9:45～11:00
27 土	おはなし会 10:30～11:30
29 月	休館日
31 水	館内整理日 移動図書館車巡回① 14:05～15:15

※おはなし会: 乳幼児10:30～11:00、4歳以上11:00～11:30
※移動図書館巡回: ①「飯野駅前地区体育館→飯野出張所」②「麓橋団地→自衛隊官舎」③「岡元小学校→市立病院→さくら苑」④「老人福祉センター」⑤「飯野地区コミュニティセンター→警察署官舎」

えびの市民図書館

☎35-0242 <http://ebino-city-lib.jp/>

■開館時間■ 火曜日～土曜日/午前9時～午後7時 日曜日・祝日/午前9時～午後5時
■休館日■ 毎週月曜日 (祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

vol.95

えびの自慢のおいしい料理
Delicious cuisine of Ebino

うまかまん



つるっとしてもちもちとした食感がたまらない一品

今月の一品 みたらしだんご

Recipe レシピ

【材料】(20個分)
だんごの粉 150g、堅豆腐(絹) 150g、しょうゆ 大さじ3、みりん 大さじ5、砂糖 大さじ5、水 100cc、片栗粉 大さじ1

【作り方】
①だんごの粉と豆腐を混ぜて、耳たぶの硬さになるくらいまでこねる。
②①を20等分にして、丸める。
③鍋に水を入れて沸騰したら②を鍋に入れる。
④浮いてきたら、約2分茹でて、水に取り上げる。
⑤しょうゆ、みりん、砂糖、水を鍋に入れ、火にかけて、砂糖を溶かす。
⑥少量の水で溶いた片栗粉を⑤に入れてとろみをつける。
※お好みで、あんこなどをかけてもおいしくいただけます。



【紹介者】JA えびの市女性部の皆さん

心の一首一句 あなたもつくってみませんか。

詩
浮かばない わたし・・・
伊地知恵子

これでもいいのか・・・と思いつながらなんとかかかんとか書いてみる。久々の「詩」は、何となくこちなくて気持ち揺れる。そして、チョッピリ恥ずかしい。浮かばない私・・・これから少しずつ浮かんでほしい。次回に期待するわたし・・・

俳句
田の神の 化粧直して 種浸す
中堀ふじ子
えびの産ひのひかりの特A受賞はえびの米作農家全体に勇気と活力を与えました。今年も未永田の神まつりを過ぎると本格的な米作りがスタートします。これからもみんなの努力でおいしい米ができますように。(自註)

短歌
病める日の子の気遣いの有り難さ 厳しく優しく娘は看護師
山本ハヤ子
卯の花月は晴天の清々しさで光を作り出す中で元気で多忙な作者はある日体調をくずし寝込んでしまった日の献身的に尽くしてくれた娘への感謝。まさに今薄れている思いやり、やさしさ、親子の情愛をほのぼのとした感動を覚えるすばらしい歌である。(評:竹下妙子)

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 37 - 3056 (俳句) 松山良文さん ☎ 33 - 4904 (詩) ポエム同好会 (石井高子さん) ☎ 33 - 0010まで

交通事故が多発しています



宮崎県内では、3月末現在、交通事故での死者18人、重傷者91人と人身事故が多発しています。交通事故を防ぐために、次のことを心掛けましょう。

- 【運転手】 脇見・ぼんやり等の漫然運転はやめましょう。横断歩道付近では、減速し、歩行者がいる場合は、必ず停止しましょう。早めにライトを点灯し、車の存在を知らせましょう。
- 【歩行者】 道路を横断するときは、左右の安全確認をしっかり行いましょう。

3月の交通事故発生状況	人身	10件	本年累計	18件
	物件	28件	本年累計	81件

えびの署の人事異動



4月1日付けの人事異動で職員がかわりました。

- 【着任】 署長 前原泰典（高原分遣所所長）、今村栄（消防本部警防指令課主査）、高尾輝昭（消防本部警防指令課司令室主任）、上田芳文（野尻分遣所主任）、山中大輔（中央消防署主事）、高津佐翔（中央消防署主事）
- 【離任】 池上務、梅田祐貴、柚木山学、松田健作、菌田卓磨、宮崎博之

市民の皆さんの生命、身体、財産を全力で守り、信頼していただけるえびの署員であるよう、全員で精進していきますので、これからもよろしくお願ひします。

3月の活動状況 【えびの消防署管内】	火災	4件	年計	5件
	救急	74件	年計	206件

生涯スポーツ



スポーツ活動の支援をしています

えびの市スポーツ推進委員協議会では、市内の生涯スポーツ振興や健康づくりを目的として、さまざまな活動を行っています。

2月5日には、えびの市をスタートして都城市をゴールとする第71回南九州駅伝が開催されました。当日はあいにくの天気でしたが、ランナーは皆、雨に負けない素晴らしい力走を見せてくれました。えびの市スポーツ推進委員も総出でスタッフとして参加し、走

路の安全確保に努めました。

また、2月22日には、えびの市子ども会育成連絡協議会の研修会に講師として参加しました。参加者の皆さんに、運動の前に役立つストレッチや、気軽に体を動かすことのできるウォーキング、ニュースポーツについて、楽しく学んでもらうことができました。

その他、県や九州単位のスポーツ推進委員研修会に参加し、新たなニュースポーツや、運動のこつ

について勉強してきました。今後の出前講座等を通じて、市のスポーツ振興に役立てていきたいと思ひます。

さて、4月も半ばを過ぎ、春らしく暖かな、スポーツに適した季節になってきました。

スポーツ大会やイベントも多くなり、推進委員の出番も増えてきます。今年度もえびの市スポーツ推進委員一同、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

文：市社会教育課市民体育係

男女共同参画



ひとりで悩んでいませんか

えびの市女性相談所は、平成18年10月から相談受付を始め、現在では、相談電話を専用電話とフリーダイヤルで対応しています。不安なこと・心配なこと・話を聞いて欲しいことなどありましたら、気軽に電話ください。解決へとつながる糸口を一緒に探していきたいと思ひます。

また、DV（ドメスティック・バイオレンス）についての問題は、当事者だけの解決は難しいもので

す。

いくら親しい間柄であっても暴力（身体的暴力・精神的暴力・経済的暴力・性的暴力・社会的暴力）は決して許されるものではありません。暴力を受けている人の中には「自分が悪い・我慢すればいい・大げさにしたくない・世間体が悪い」と考えている人もいます。

もし、身近な人や友人、知人に、様子がおかしいと思われる人がいたら、理解のある専門機関（警察・

相談窓口・弁護士など）に相談することを勧めてください。

当相談所でもお話を聞いたたり、専門機関を紹介したりすることもできます。

【えびの市女性相談所】
 祝日・年末年始を除く月曜から金曜の午前9時から午後4時まで
 女性相談員が対応し、相談内容は固く守られます。
 ☎ 35・0152（専用電話）
 ☎ 0120・123・693（フリーダイヤル）
 文：市総務課人権啓発室

いきいき!健康



健康寿命を延ばそう

男性約9年、女性約12年。これは平均寿命と健康寿命の差です。治療や介護が必要で、自分らしい生活ができない期間がこれだけあります。

健康寿命を延ばすには生活習慣病予防が大切です。「腹八分に医者いらず」という言葉があります。必要以上のカロリーを取り続けると肥満になり、高血圧症や糖尿病などに影響します。旬の物をよくかんで食べることを心掛け、標準

体重を維持するようにしましょう。

また、運動習慣を持つことも大切です。「小さな段差につまずく、瓶のふたが開けられなくなった、立ち上がるときに机に手をついてしまう」などは筋力低下のサインです。筋力低下には個人差がありますが、30歳から始まり年0・5%から1%、80歳代には30%から40%の低下があるといわれています。筋力低下があると、膝や腰の痛みがでる、長く歩けない、物

を持ち上げられない等生活の質が下がります。筋肉は唯一老化に逆らえる体の組織ですが、運動習慣のない高齢者がいきなり筋肉を鍛えようとしても無理があります。

そこでお勧めしたい運動が百歳体操です。市内の47会場を取り組まれており、参加者は体操の効果を実感しています。健康で自分らしい生活が続けられるよう百歳体操に参加しませんか。詳しくは、市地域包括支援センターまでお問い合わせください。

文：市介護保険課萩原保険師

ご来場ください「えびの駐屯地創立36周年記念行事」



えびの駐屯地創立36周年記念行事が行われます。記念行事は、2部構成で、2日間行われます。第1部は、第8音楽隊の演奏を交えた市中パレードと、装備品展示等を行います。第2部は、観閲式、観閲行進などを行います。

市民の皆さん、ぜひ、ご観覧ください。

■第1部

【開催日】5月13日(土) 雨天決行 ※荒天時は中止

【内容】市中パレード：午後2時～午後2時30分(県道飯野停車場線)

第8音楽隊ミニコンサート：午後1時15分～午後1時45分
装備品展示：午前11時30分～午後3時(タイヨー・Aコープ飯野店駐車場)

【場所】県道飯野停車場線(Aコープ飯野店から鹿児島銀行えびの支店まで)

※パレードコースは、午後1時40分～午後2時40分まで通行止めになります。観覧者は、飯野小学校・飯野地区コミュニティセンター・えびの市民体育館駐車場をご利用ください。皆さんのご協力をお願いします。

■第2部

【開催日】5月14日(日) 雨天決行 ※荒天時は中止

【時間】午前9時～午後3時(一般開放実施時間)

【場所】えびの駐屯地

【内容】観閲式・観閲行進、模擬売店、訓練展示、装備品展示、体験試乗

問えびの駐屯地広報室

☎33-3904(内線272・273)

問市基地・防災対策課 基地・防災対策係

☎35-1119(課直通)

参加しませんか「はつらつサポーター養成講座」

はつらつサポーターとは、市が行う介護予防事業や地域で行われる百歳体操のお手伝い役となるボランティアのことです。健康寿命を延ばせるように体を動かすこと、かむこと、食べることに知識を深め、脳いきいきのレクリエーションを行うことの楽しさを体験しましょう。

【場所】真幸地区体育館集会室

【時間】午前9時30分～正午 ※受付：午前9時

【参加料】無料

【準備するもの】靴、飲み物(水分補給用)、運動できる服装

【プログラム】

	実施日	内容	講師・担当
1回目	5月12日(金)	開講式、オリエンテーション、自己紹介、講話「筋力を鍛える意義と百歳体操について」、実技：百歳体操	地域包括支援センター
2回目	5月19日(金)	講話「食べることを大切にしましょう」、サポーター活動の実際、実技：百歳体操	健康保険課 市民健康係 栄養士
3回目	5月26日(金)	講話「口くう機能を向上させましょう」、市内の百歳体操紹介、実技：百歳体操	歯科衛生士
4回目	6月2日(金)	講話「認知機能の低下を予防しましょう」、「ボランティア活動とは」、実技：百歳体操	認知症キャラバンメイト、えびの市社会福祉協議会ボランティア育成担当
5回目	6月9日(金)	「先輩サポーターの活動報告を聞き、今後のサポーター活動のヒントを得よう」、閉講式、実技：百歳体操	地域包括支援センター

※全5講座中、4講座以上受講すると、はつらつサポーターとして認定されます。その後は、はつらつサポーター連絡会会員として、地域の百歳体操を支えるとともに、サポーター活動の情報交換や自らの健康保持に役立つ研修会に参加することになります。

申・問市介護保険課 地域包括支援センター

☎35-1112(課直通)

見事な桜を満喫
八幡丘公園の桜約2000本が見事な花を咲かせました。
満開となった4月8日は、市内外から、たくさんのお見物客が訪れ、甘い香りと美しいピンクの花に酔いしれていました。
(昭和59年4月号掲載)



フラワースhowerで池島兵児踊りを披露
3月29日、宮崎フラワースhowerで池島兵児踊りが披露されました。これは、すぐれた郷土芸能を県内外の人に知ってもらおうと行われたものです。
兵児踊りの勇壮な踊りと、笑いを誘う狂言はひととき目を引いていました。
(昭和59年4月号掲載)

サイクリングで親子のふれあい
3月18日、親子スポーツサイクリング大会が開かれました。これは、自然に親しみ、親子のふれあいをもとに行われたものです。大会には、約60人の親子が参加し、市役所から木崎原合戦跡へ行き歴史を学び、王子原運動公園までサイクリングを楽しみました。
(昭和59年4月号掲載)



このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています。

「東日本大震災義援金」の受付期間が延長されました

日本赤十字社では、東日本大震災で被災された人を支援するため、義援金を受け付けています。この度、受付期間が平成30年3月31日（土）までに延長されました。引き続き、皆様のご支援をお願いします。

■現金持参の場合

日本赤十字社宮崎県支部えびの地区（えびの市社会福祉協議会内）の窓口で受け付けます。

※寄附金控除のため受領証を希望する方は、窓口でお申し出ください。

■金融機関から送金する場合

【銀行振込の場合】

銀行名	店名	口座種類	口座番号
三菱東京 UFJ 銀行	東京公務部	普通	0028706
三井住友銀行	銀座支店	普通	8047670
みずほ銀行	新橋中央支店	普通	2188729
ゆうちょ銀行	〇一九店	当座	0000507

【口座名義】日本赤十字社

※金融機関によっては、振込手数料がかかる場合があります。

【郵便局から送金する場合】

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行	00140-8-507	日本赤十字社 東日本大震災義援金

※ゆうちょ銀行・郵便局窓口での取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。

※受領証発行を希望する場合は、通信欄に「受領証希望」と記載してください。

問えびの市社会福祉協議会

☎35-2800

ご利用ください「えびの湯田地区河川公園」

湯田橋西側の河川敷に新設した「えびの湯田地区河川公園」の一部(多目的グラウンド・芝生広場)が利用できるようになりました。

この河川公園は、市民の皆さんに自然に親しむ場を提供し、潤いのある生活を送ってもらうために設置したもので、グラウンド・ゴルフ等、さまざまなスポーツに利用することが可能です。

利用を希望する場合は、市内体育施設の指定管理者である「えびの市総合型地域スポーツクラブ」まで申請してください。

ただし、10月から再度工事を行うため、10月～平成30年3月の間は利用できなくなりますのでご了承ください。

なお、トイレについては7月に完成予定です。それまでは使用することができませんので、ご注意ください。

また、グラウンド・広場は養生のため、車の乗り入れはご遠慮ください。

申えびの市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

☎48-9677

☎090-8289-2290

問市社会教育課 市民体育係

☎35-3719 (課直通)

軽自動車税は納期限内に納めましょう

軽自動車税は、毎月4月1日現在で、宮崎運輸支局に登録されてある軽自動車や126cc以上のバイク、市町村で登録されてあるバイク（125cc以下）や小型特殊自動車

を持っている人に課税されます。

軽自動車等の所有者は、5月31日（水）までに軽自動車税を納めてください。市役所または金融機関、各コンビニエンスストアでも軽自動車税を納めることができます。詳しくは、納税通知書をご覧ください。

もし、5月中旬までに納税通知書が届かないときは、市税務課までお問い合わせください。

なお、障がい者のために使用する自動車について、一定の要件に該当する場合は、5月31日（水）までに申請すれば、軽自動車税の一定額が減免されます。

申・問市税務課 市民税係

☎35-3734(直通)

劇団どくご『愛より速く2号』を開催します



鹿児島を拠点とし、全国各地を駆け巡る「劇団どくご」がえびのにやってきます。

これは、市文化センターが平成29年度自主事業として行うものです。

劇場テント（通称「犬小屋テント劇場」）内で繰り広げ

られるパワフルなお芝居を、ぜひ、体感してください。

【開催日】5月7日（日）

【時間】開演：午後7時 開場：午後6時30分

【場所】市文化センター前広場

【入場料】前売り券・予約券：2,500円（当日2,800円）

中高校生：1,300円、小学生：500円、未就学児：無料

【チケット取り扱い】市文化センター

申・問市文化センター

☎35-2268

堤防の刈草を提供します

国土交通省では、川内川の堤防等の維持管理のため、除草作業を業者に委託して行っています。

その刈草を、資源の有効利用を図るため地域の皆さんに提供し、家畜粗飼料や畑等の敷き草、堆肥などに利用してもらいたいと考えています。

草刈りから梱包までは業者で行いますが、現地からの持ち出しは利用者本人に行ってもらいます。この刈草を希望する人は以下にお申し込みください。

【申込期限】5月19日（金）※土日、祝日を除く

【申込方法】国土交通省川内川河川事務所京町出張所でお申し込みください。

【その他】・今回の募集は、許可制による個人の採草とは異なります。

・登録期間は1年間です。今まで登録されていた人で引き続き希望する人は、新たに申し込みが必要です。

・梱包の際、刈草の中のごみはある程度分別しますが、混入していることもあります。

申・問国土交通省川内川河川事務所 京町出張所

☎37-1151



◎今月の表紙

3月26日、文化の杜でえびので食べよう！文化のもりもり市場が行われました。竹馬の試乗コーナーでは、最初は一人で乗れなかった子が、何度も繰り返すうちに乗れるようになっていました。

今月の納税

固定資産税 第1期

介護保険料 第1期

5月1日（月）までに納めましょう。

人口 18,805人(前月比-159人)

男性／ 8,826人 (-93人) 女性／ 9,979人 (-66人)

転入／ 132人 転出／ 255人

出生／ 10人 死亡／ 46人

世帯数 8,411世帯(前月比-39世帯)

(平成29年4月1日現在)

飯 野高校でえびの市出身の現役モデルによる講演会および実技指導の取材に行きました。さりげないしぐさも様になっていて、さすがプロだなと思いました。(東)

新 年度になり、広報担当2年目がスタートしました。今年度も市民の皆さんとたくさん話をして、親しんでもらえるような広報紙づくりに努めます。(久保田)

Editor's



写真:アオゲラ (撮影:平成29年1月27日)

「アオゲラ」

霧島山の木こりさん

池めぐりコースの森の中、「ドドドドド」と大きな音が鳴り響きました。いったいなんの音でしょう。岩が転げ落ちる音でしょうか。それとも誰かが木を叩く音でしょうか。しばらくするとまた同じ音がして、今度は「ピョーピョー」と鳴き声もします。

音を鳴らしたのはアオゲラ。日本固有の大きなキツツキです。春は縄張り争い、求愛、巣穴を掘るため、木の中の昆虫を食べるために木をつつきます。近くで聞くと本当に大きな音で、木が倒れてくる音かと驚いたことがあります。

生きている木にも巣穴を掘り、人がよく通るハイキングコース沿いに巣穴を作ることもしつこくありません。ツバメと同じく、人が通るほうが外敵を遠ざけられることを学習しているのでしょうか。

えびの高原には、他にもオオアカゲラとコゲラというキツツキが生息しています。木を叩く音が聞こえたら足を止めて見上げてみましょう。霧島山の木こりがお仕事の中かもしれませんよ。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

アオゲラ
Picus awokera

キツツキ目キツツキ科